

挑戦を続ける 中西レオ



レオナンドス通信

www.nakanishireo.com/ 2022年新春号 発行:中西レオ応援団

関心は高まったけれど

2021年は衆議院総選挙がありました。最近の選挙の中では比較的高い投票率となりましたが、そもそもここ10年が低すぎるようです。今回の結果を2009年と比べると明石市で投票率が約13%減、投票者数も約2万3千人減りました。

「候補者の魅力がない」、「誰に投票しても同じ」という声もありますが、まずは投票することで興味が湧き、政治家は真面目に働き、政治が良くなり、社会が良くなります。評価・判断が難しいかもしれませんが、まず投票されることを強く望みます。

若者の率直な意見

最近「政治や行政のことがわからない自分が票を投じるよりも、より詳しい人が投票して決める方が合理的」という考えの若者がいます。なるほど、と思う気もしますが、分からないなりに投票する、もしくは投票のために時間を割いて社会の問題に目を向けることが大切。そもそも、「政治に詳しい」には誰もたどり着けません。

投票率を上げる＝社会を良くする

県内の投票率

投票率	2021年衆院選挙	2019年県議選挙	2017年衆院選挙	2014年衆院選挙	2012年衆院選挙	2009年衆院選挙
県全体	54.29%	38.64%	48.62%	50.86%	58.59%	66.96%
明石市	50.57%	34.79%	45.43%	47.57%	56.24%	63.41%
加古川市	51.05%	34.84%	45.22%	48.77%	58.10%	66.67%
神戸市西区	53.01%	39.01%	47.52%	47.53%	55.84%	64.00%
神戸市垂水区	53.73%	40.80%	46.97%	50.07%	56.96%	64.67%
尼崎市	48.83%	34.34%	42.09%	45.87%	57.51%	67.27%
南あわじ市	67.68%	46.24%	67.34%	53.92%	62.27%	70.39%
神戸市東灘区	58.07%	40.91%	49.88%	52.17%	59.84%	66.42%
新温泉町	81.04%	57.24%	67.70%	61.32%	71.92%	78.86%

衆院選（2009年～2021年）および2019年県議選の投票率。自治体のチョイスは近隣、同規模、中核市、投票率がいつも高い/低い等を考慮。

国会議員の文通費を考える

国会では文書通信交通滞在費(文通費)の月額100万円が在籍1日で支給されたことを発端に取りざたされました。



【論点① 日割り】
在籍1日で満額支給されること(日割り)の問題は、各党が改善に乗り出したのでOK。

【論点② 領収書】
使途の公開(領収書)の問題は、真面目に議員活動していれば活動報告の郵送費等で支出がありますので、公開すれば良いと思います。

しかし、セルフ領収書と呼ばれる「自分(議員)から自分(自分の政治団体等)へ寄付をする」への寄付を許しては何の意味もないものです。「改革をやっている風」に騙されるようにしなければなりません。

【論点③ 文通費の必要性】

国会議員は活動の経費が膨大ですので、文通費のようなものを削りすぎると、口利き等で不正な利益を得たり、経費をちよろまかしたりする人が出ます。

もちろん、そんなことする人を国会議員に選ぶな、という意見はごもっともですが、当選する人は聖人君子ばかりではありませんし、貧すれば鈍するとも言います。

政治家にきちんと国益に資する仕事をさせるために、透明性を持ちつつも、働く環境は整えるべきと考えられています。

